



望

と

勇

令和7年6月12日

No.12

文責 田中 誠

なかよし旬間 入安先生のお話

「日本語でいい」

山寺校長

今日は、「虹のかけはし」の入安先生からお話をお聞きしたいと思います。とても大事なお話なので、校長先生も隣でしっかり聞きたいと思います。

入安

虹のかけはしの入安です。みなさんとはあまり会うことがないので知らない人もいられるかもしれません。普段は高校で勤務しています。また、小学校や中学校の日本語教室でも教えています。私は外国人ですが、日本に長く住んでいて日本語ができるので、日本語が得意でない外国人に日本語を教えています。

日本には今たくさんの外国人が来ています。そのほとんどは旅行者です。観光客の皆さんは私たちの暮らしからは遠いところにいますが、今日はすぐ近くにいる外国人について考えてほしいと思います。

自分のクラスに外国人の友だちがいる、近所に外国人が住んでいる、という人もいると思います。すぐ近くの外国人です。そういう人にどのように接したらいいか、困っている人が多いようです。何語で話したらいいか分からずに、結局話しかけられないままになってしまうそうです。

そんな時は、ぜひ日本語で話しかけてください。日本で生活をしようとしている外国人は、少なからず日本語を勉強してきます。「こんにちは」だけでもいいです。何語で話しかけていいかわからないからそのまま通り過ぎてしまうと、外国人は「無視された」と思って悲しくなります。無視されてしまうことが一番悲しい気持ちになります。「おはよう」「こんにちは」と日本語で話しかけてください。

その後、慣れてきたら、「どこの国から来たの？」など、いろいろ聞いてみてください。国のことを聞かれるのがうれしいです。私たちにも国があります。日本語では「外」国人で、「外の国の人」という意味になりますが、外の国という風に思われると悲しいです。そうではなく、私の国のことに興味をもってもらえると嬉しいです。

「国際交流」という言葉がありますね。難しく聞こえますがそうではありません。知りたい、聞きたい、考えたいと心の中で思ってくれたら、それが国際交流です。何を食べるのかな？日本ではコメが主食だけど、パンかな、パスタかな？そう思ってくれたら国際交流です。ぜひ日本語で話しかけてくださいね。

山寺校長

大切だなと思ったのは、どうやって話していいか考えているうちに通り過ぎてしまったら無視をされたと感じてしまう。でも日本語でいい、「こんにちは」というだけで十分だ、ということです。これで校長先生のお話を終わります。

